

和光市議会議員 無所属 39歳

いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

VOL.25【討議資料】
2016年7月発行



議会報告会を開催しました!!

平成28年4月27日(水曜日)に中央公民館にて議会報告会を開催しました。今回から趣向を変え、前半は予算の概要、常任委員会における予算審査について説明をし、後半はテーブルを二つ設け、総務と文教の常任委員会の議員に分かれて、出席者参加型の意見交換会を実施しました。参加された方の評判は良かったのですが、出席者の方が少ないため、参加を促すPRが今後も大きな課題です。



平成28年和光市議会6月定例会報告

6月2日～6月21日の期間で6月定例会が行われました。主な議案と審議結果は以下の通りです。なお、議案と審議結果の詳細は和光市議会のホームページをご覧ください。

議案(抜粋)	議案の概要	審議結果
第二中学校給食室改築工事の請負契約の締結について	第二中学校給食室は46年が経過し老朽化が進んでいることから、既存給食室を解体し、ドライシステム化された給食室に改築する。	原案可決
和光市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正。小規模保育事業A型及び事業所内保育所の保育士の配置について特例的運用を可能とするもの。	原案可決
和光市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び和光市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、通所介護のうち小規模なもの(定数19人未満)について、地域密着型サービスに位置づける。それに伴い関係条例に地域密着型通所介護の基準を新たに定めるもの。	原案可決
市道路線の認定について	和光北インター地域土地区画整理事業により道路線形が確定した地域の5路線を市道として認定する。そのうち市道1512号線及び市道1513号線については歩行者専用道路として認定する。	原案可決
平成28年度補正予算	一般会計予算に59,011千円を増額。補正後は約24,584,011千円。	原案可決

その他の主な提出議案(抜粋)

- 和光市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
保育士の配置についての特例的運用は以下の通りです。
 - ① 児童が少なくなる時間帯に保育士1名となる場合、保育士数を1名以上とすることができる。ただし、保育士1名の時は、当該保育士に加え市長が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者を置くこと。
 - ② 幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の免許保持者を保育士とみなすことができる。
 - ③ 1日8時間を超えて開所する場合に必要な保育士総数が利用定員に応じて置くべき数を超えるとき、市長が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者を、その差の範囲内で保育士とみなすことができる。
 - ④ 上記②と③を適用する場合であっても、保育士資格の登録を受けた者を各時間帯において必要となる保育士の数の3分の2以上置かなければならないこととする。
- 平成27年度埼玉県和光市一般会計補正予算(59,011千円)
主な事業は、個人番号カード交付の臨時窓口開設期間の延長(4,673千円)、介護予防拠点を中央エリア及び南エリアへ整備(17,000千円)、保育士宿舎借り上げ支援補助金(10,332千円)等。

いはら陽輔の一般質問の要旨

国の待機児童解消施策への対応

問：国の待機児童解消に向けて緊急に対応する施策では0、1、2歳を対象とした小規模保育所において3歳児以降の継続入園をできるようにすると提示されているが、市の見解について伺う。

答：和光市では小規模保育所から3歳以上の保育園への連携施策を進めている。その定員を考慮すると今後3、4、5歳の専門の保育園も整備していく予定であるので、基本的には現在のところ小規模保育所に3歳児を継続させる施策を実施するつもりはない。

18歳有権者に対する啓発

問：直近の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられる。埼玉県選挙管理委員会は、小・中・高校に対して選挙啓発出張出前講座を行っている。市内の高校において出前講座を活用すべきと考えるがいかがか。

答：埼玉県選挙管理委員会は選挙に関するミニ講座、模擬投票を行う出前出張講座を実施しており、またホームページにて模擬選挙実施マニュアルを公表しており、授業等で活用できるので、改めて市内高校への活用を促していきたい。

また、和光市選挙管理委員会としても、参議院議員選挙では入場整理券とは別に選挙啓発はがきを、18、19歳の方に送付する他、明るい選挙推進協議会とも連携を図り、高校生に対する啓発を効果的に実施する。

車道への自転車走行空間の整備

問：警察庁の調査によると、自転車事故自体は減少しているものの、自転車対歩行者の事故は減少していない。事故防止のため、車道に自転車走行空間を整備する事例が全国的に増加している。歩行者と自転車を分離し、かつ右側走行を抑制する効果もあることから和光市でも整備してはいかがか。

答：まずは、周知・啓発・教育が重要と考えるが、自転車専用の通行帯を設けることにより、交通状況の健全化や、自転車に関連した交通事故の減少が期待される。和光市においても市内道路の状況や交通状況にあった対策を研究していく。

わこう暮らし生き生きサービス

問：和光市は株式会社日本総合研究所が設立したギャップコンソーシアムに参画し、コンソーシアム参画企業と協定を締結し、わこう暮らし生き生きサービスを実施している。この事業の概要、またサービス導入に至った経緯、そして数ある企業の中から協定を締結した企業を選択した理由について伺う。

答：導入の背景、事業の概要については、第6期長寿あんしんプランにおいて、自費サービス、いわゆる保険外サービス購入等の経済性に着目した新たな生活支援サービスを公民連携による創出を掲げている。ギャップコンソーシアムは自治体と民間企業の協働によるプラットフォームを地域に設置し、高齢者のニーズ分析やサービスの開発・提供及び高齢者に対する情報提供等のコーディネートを行うことにより、生活上の課題解決や社会参加を促すサービスを目指すものである。

市の施策と活動趣旨が一致したことから、自費による新たなサービスと位置付けることを目的としてコンソーシアムに参加することとなった。

和光市では株式会社ダスキンとの協定により、わこう暮らし生き生きプラザを運営している。ダスキンは自費による生活支援サービスの展開により、事業への即応性が高く、早い段階から具体性を持った参入意向を示していることから、締結するに至った。

計画的な公園整備

問：緑の基本計画では将来的に公園の配置バランスが整っているように見えるが、現状において基盤整備が滞っている地域は公園の配置バランスが欠如している。公園の配置バランスについてどう考えているのか伺う。

答：緑の基本計画は策定から17年経過しており、現在の配置方針とはかい離している。地域的に見れば区画整理にともなう街区公園の整備も進んでいるが、新倉1丁目の一部地域ではバランスを欠いていると認識している。区画整理事業による基盤整備により公園整備に努めていきたいと考えている。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

9月定例会の開催予定

8月25日(木)	開会、議案の提案説明
8月31日(水)	議案に対する質疑
9月1日(木)	常任委員会
9月2日(金)	常任委員会
9月5日(月)	常任委員会
9月6日(火)	常任委員会
9月7日(水)	常任委員会
9月8日(木)	市政に対する一般質問
9月9日(金)	市政に対する一般質問
9月12日(月)	市政に対する一般質問
9月13日(火)	市政に対する一般質問
9月15日(木)	議案に対する討論、採決、閉会

※開始時間は午前9時です。是非、傍聴にお越しください！

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke